

つぎの快適をつくろう。

CORONA

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

代表取締役社長 大桃 満

東証スタンダード市場 証券コード 5909

<https://www.corona.co.jp/>

2022年 11月

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績につきましては、今後様々な要因により見通しと異なる場合があり得ることをご承知おき下さい。

1. 2023年3月期 第2四半期
連結業績ハイライト
2. 2023年3月期 計画
3. コロナグループ中期経営戦略

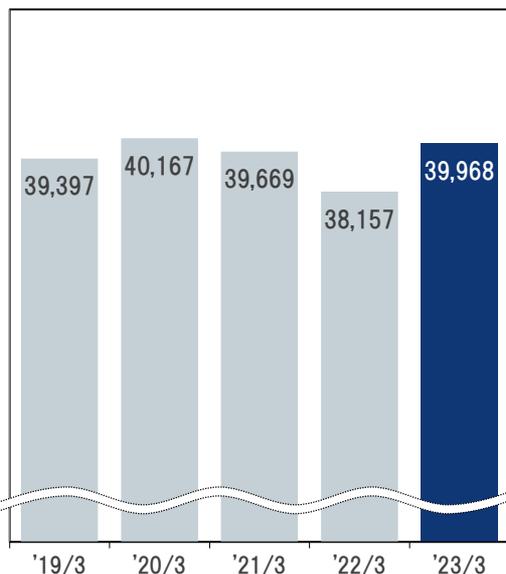
(単位：百万円)	22年3月期 2Q実績	23年3月期 2Q当初計画	23年3月期 2Q実績	前年同四半期比		当初計画比	
				増減額	増減率 (%)	増減額	増減率 (%)
売上高	38,157	39,200	39,968	1,811	4.7	768	2.0
営業利益	102	△600	390	288	280.0	990	—
経常利益	272	△400	601	328	120.7	1,001	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	194	△300	410	215	110.9	710	—

主な増減要因

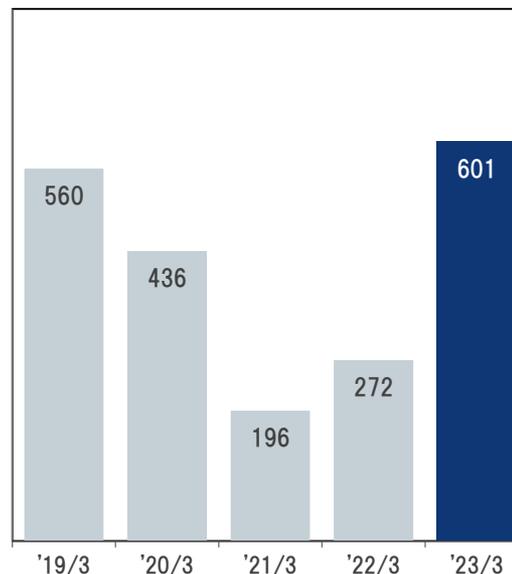
- 売上高 主に住宅設備機器が好調に推移し当初計画、前年同四半期を上回る
- 利益面 売上高の増加に加え、原材料価格高騰に伴う製品価格への転嫁や経費削減の取り組みを進めたこともあり当初計画、前年同四半期を上回る

(単位：百万円)

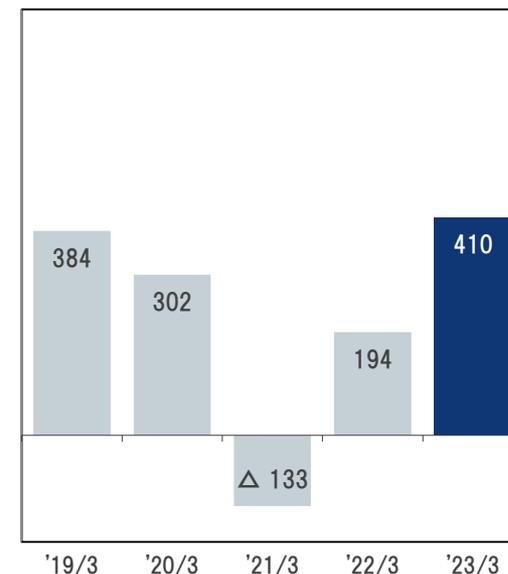
売上高



経常利益



四半期純利益



※2019/3期及び2020/3期の数値は「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を遡って適用する前の数値となっております。

トピックス

- 製品の安定供給に努める中で、特に石油給湯機やエコキュートなど住宅設備機器の販売が好調に推移
- 住宅設備機器の販売増加や原材料価格高騰に伴う製品価格への転嫁、経費削減の取り組みの効果などもあり第2四半期時点では2期連続の増益

第2四半期 連結P/L分析（売上高～経常利益）

つぎの快適をつくろう。

CORONA

(単位：百万円)	2022年3月期 第2四半期 実績	2023年3月期 第2四半期 実績	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	38,157	39,968	1,811	4.7
売上原価	29,874	31,510	1,636	5.5
売上総利益	8,283	8,458	174	2.1
販管費	8,180	8,067	△113	△1.4
営業利益	102	390	288	280.0
営業外収益	170	218	47	27.9
営業外費用	1	8	6	516.8
経常利益	272	601	328	120.7

主な増減要因

- 売上原価 原材料価格の高騰等により原価率が上昇
(原価率：78.3% ⇒ 78.8%)
- 販管費 全社的な経費削減効果もあり販管費は減少
(販管費率：21.4% ⇒ 20.2%)

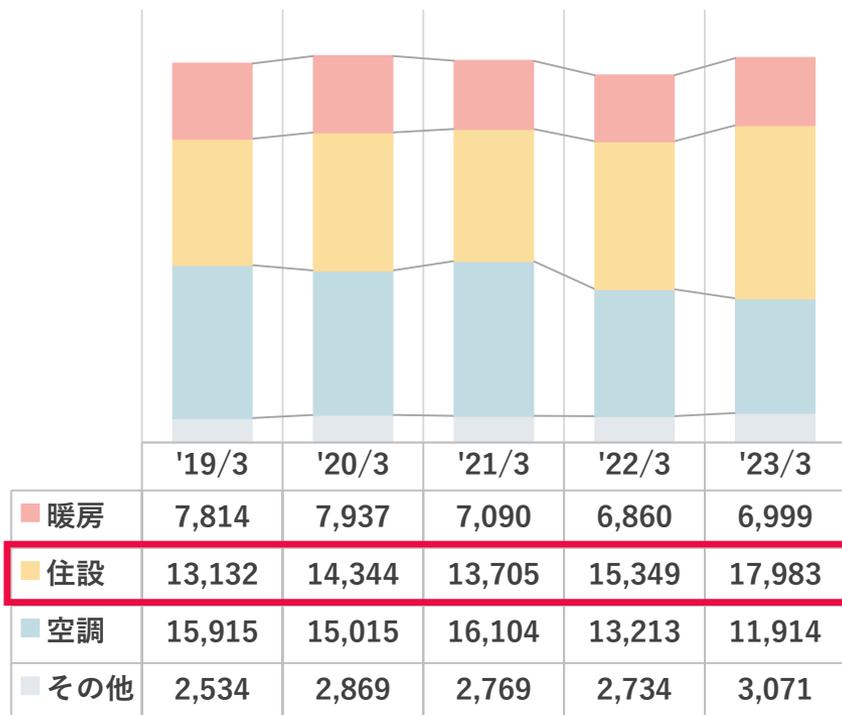
（単位：百万円）	2022年3月期		2023年3月期		前年同四半期比	
	第2四半期	実績	第2四半期	実績	増減額	増減率（%）
経常利益		272		601	328	120.7
特別利益		16		49	33	209.5
特別損失		11		47	36	331.0
税金等調整前 四半期純利益		277		603	326	117.5
法人税等		83		193	110	132.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益		194		410	215	110.9

主な増減要因

- 四半期純利益 売上高、各利益の増加に伴い四半期純利益も増加

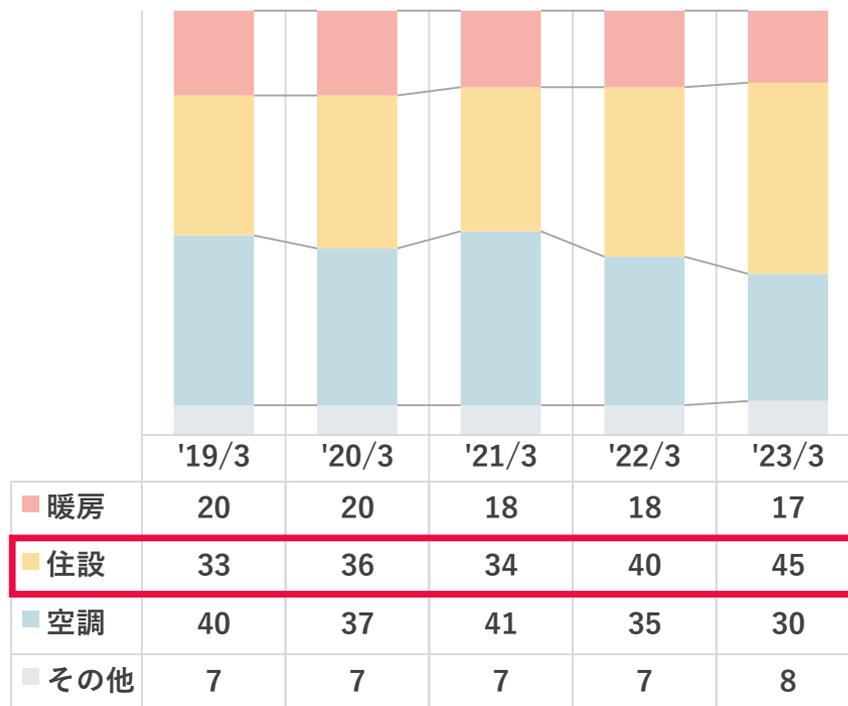
金額

(単位：百万円)



構成比

(単位：%)



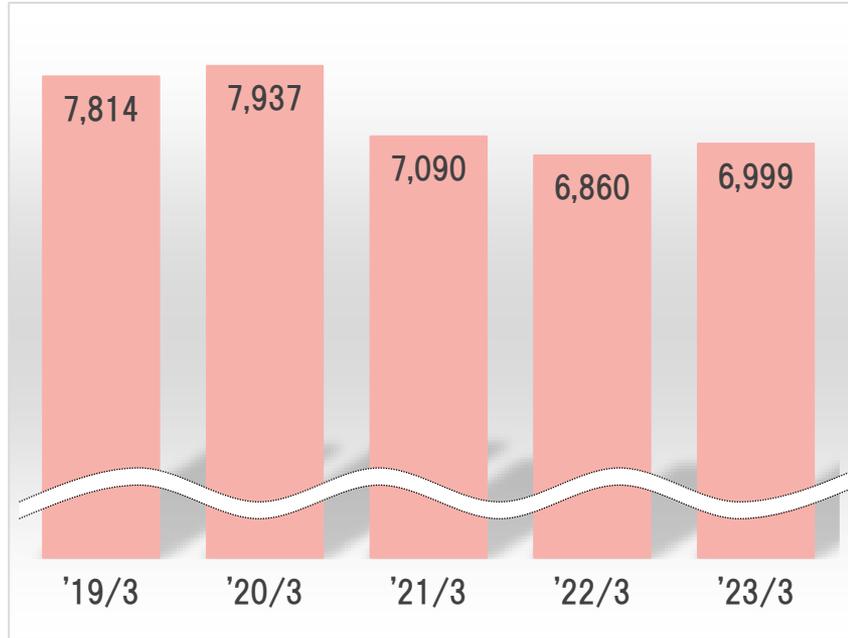
※2019/3期及び2020/3期の数値は「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を遡って適用する前の数値となっております。

トピックス

- 住宅設備機器が増加し、構成比が40%から45%に上昇

売上高推移

(単位：百万円)



主要製品販売台数 前年同四半期比増加率

石油ファンヒーター	△ 5.8%
うち輸出	+ 36.3%



石油ファンヒーター

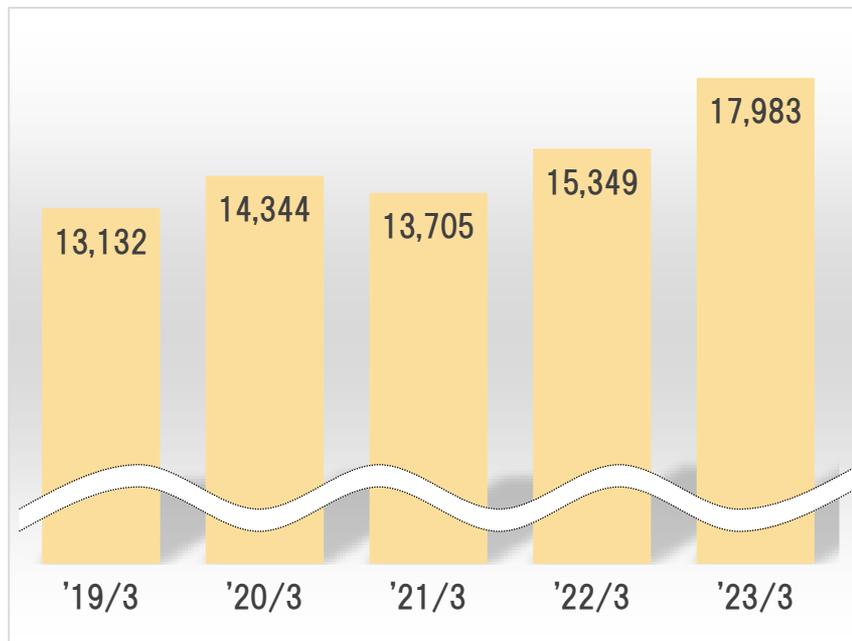
※2019/3期及び2020/3期の数値は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を遡って適用する前の数値となっております。

主な増減要因

- 需要期に向けて、寒冷地向け石油暖房機や石油ファンヒーター、ポータブル石油ストーブなどの提案活動を推進
- 構成比は大きくないものの、石油暖房機器の輸出も好調に推移

売上高推移

(単位：百万円)



主要製品販売台数 前年同四半期比増加率

エコキュート	+ 6.2%
石油給湯機	+ 35.9%



エコキュート



石油給湯機

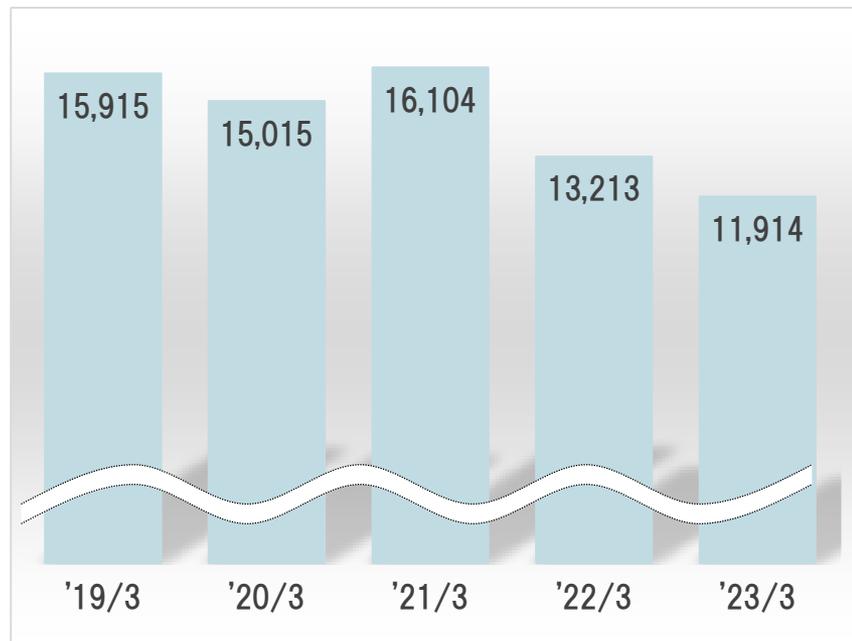
※2019/3期及び2020/3期の数値は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を遡って適用する前の数値となっております。

主な増減要因

- エコキュートや石油給湯機の安定的な供給活動に努める
- 石油給湯機は高効率・高付加価値機種種の販売に注力、エコキュートは買い替え需要の拡大等により販売が好調に推移

売上高推移

(単位：百万円)



主要製品販売台数 前年同四半期比増加率

ルームエアコン計	△ 10.9%
除湿機	△ 18.1%



ルームエアコン

冷風機

除湿機

※2019/3期及び2020/3期の数値は「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を遡って適用する前の数値となっております。

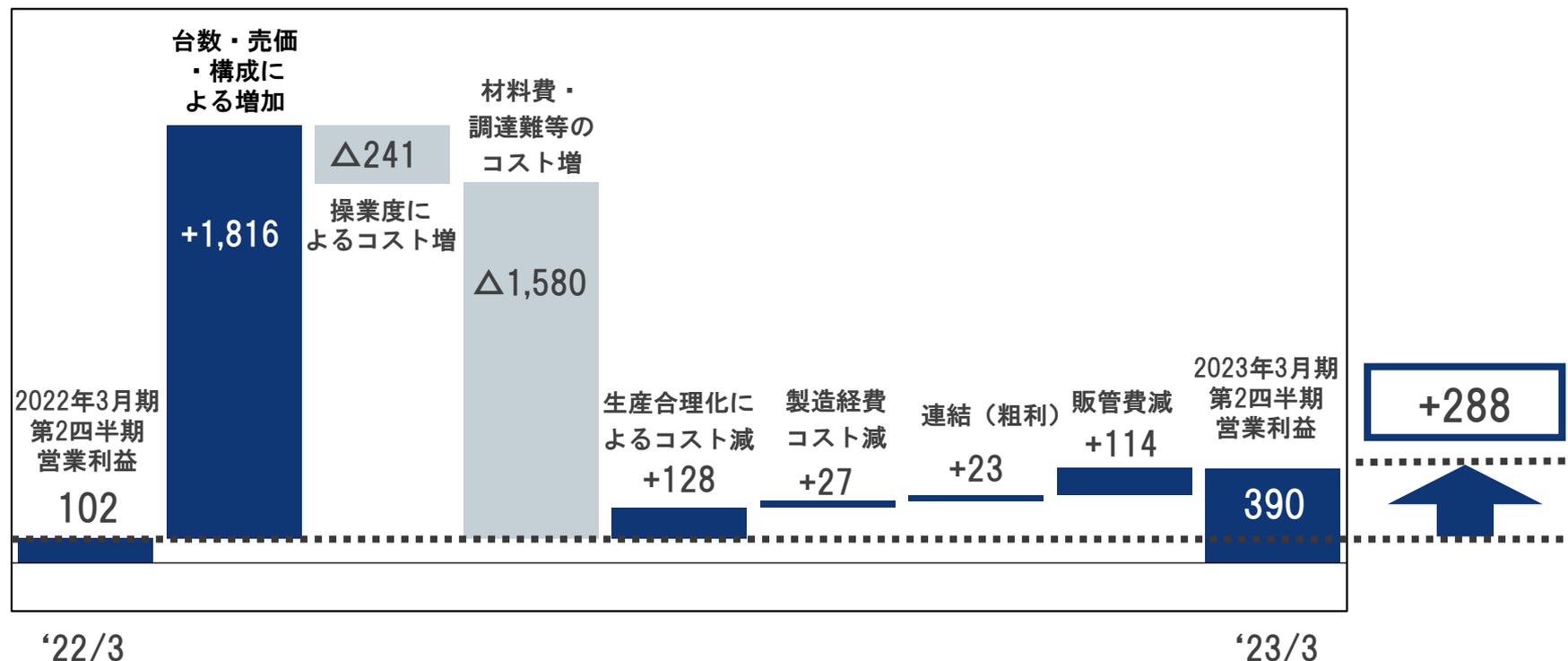
主な増減要因

- ルームエアコン及び冷風機は、全国的に気温が高めに推移したものの、天候不順やメーカー間の販売競争の激化などもあり前年同四半期を下回る
- 除湿機は衣類乾燥機能を強化した大型除湿機を投入し販売活動を進めたものの、需要期の天候不順もあり前年同四半期を下回る

第2四半期 連結営業利益増減要因

■ 増加 ■ 減少

(単位：百万円)



主な増減要因

- 材料費・調達難等のコスト増加に対し、主に住宅設備機器の販売増加や製品価格への転嫁、生産合理化や経費削減の取り組みを進めたことで営業利益が増加

(単位：百万円)	2022年3月期 第2四半期 実績	2023年3月期 第2四半期 実績	前年同四半期比	
			増減額	増減率 (%)
(資産の部)				
流動資産	58,201	57,714	△487	△0.8
固定資産	42,324	43,748	1,424	3.4
資産合計	100,525	101,462	936	0.9
(負債の部)				
流動負債	25,017	26,791	1,774	7.1
固定負債	2,621	1,944	△677	△25.8
負債合計	27,639	28,736	1,097	4.0
純資産合計	72,886	72,726	△160	△0.2
負債、純資産合計	100,525	101,462	936	0.9

主な増減要因 (単位：百万円)

- 資産の部 現金及び預金+656、売上債権+840、有価証券△1,418、棚卸資産△492、投資有価証券+1,635
- 負債の部 買掛債務+1,759、固定負債その他△677
- 純資産の部 利益剰余金+331、その他の包括利益累計額△542

2023年3月期 計画

(単位：百万円)	2022年3月期 実績	2023年3月期 見込み	前期比	
			増減額	増減率 (%)
売上高	78,648	82,700	4,051	+5.2
営業利益	850	1,200	349	+41.1
経常利益	1,195	1,600	404	+33.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	939	1,000	60	+6.4

- 上期は住宅設備機器の販売増加や原材料価格高騰に伴う製品価格への転嫁、経費削減の取り組みを進めたことで売上、各利益とも当初計画、前年同四半期を上回った
- 一方、通期については原材料価格の高騰や世界的な電子部品類等の不足に対する懸念が残っていることや円安、物価上昇などにより先行きの不透明感が強まっている状況を踏まえ業績予想は据え置き、今後の動向を注視するとともに、生産・販売活動では柔軟な対応に努める

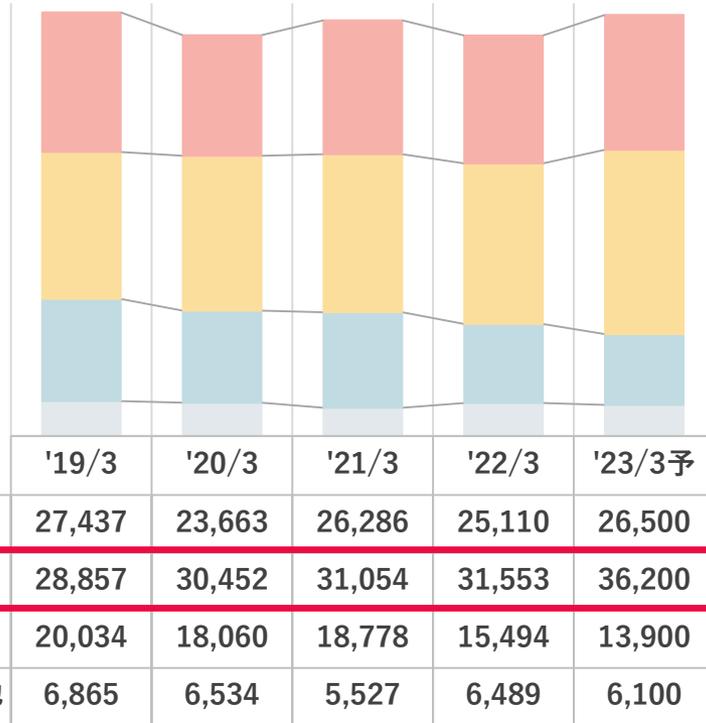
通期 連結売上高・製品種類別構成推移

つぎの快適をつくろう。



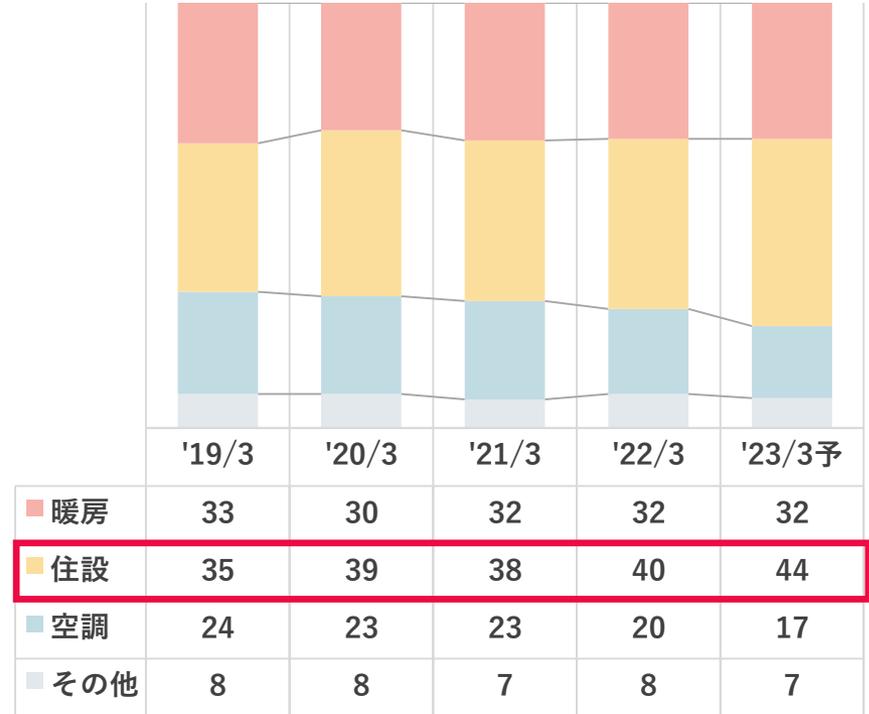
金額

(単位：百万円)



構成比

(単位：%)



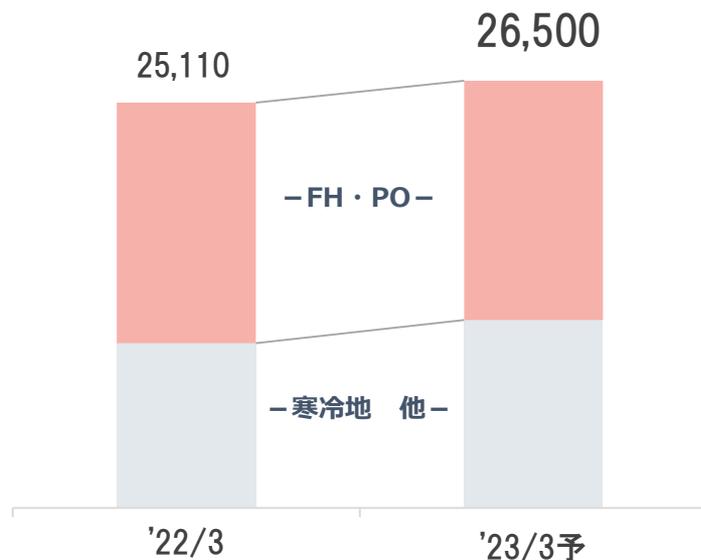
※2019年3月期及び2020年3月期については「収益認識に関する会計基準」
(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用していません。

トピックス

- 給湯・住設システム等の販売強化で住宅設備機器の構成比を高め、季節要因による変動を抑え、売上高の平準化を図る方針
- 住宅設備機器の構成比は前年の40%から44%に上昇する見込み

売上高推移

(単位：百万円)



主な増減要因

● 前期比 +1,389百万円

・ 製品供給状況の改善や製品価格への転嫁の取り組みを進めることで前年を上回る見込み

・ 寒冷地を中心に根強い需要があり災害時などのレジリエンス性も持つ石油暖房機、都市部を中心に需要拡大を見込む電気暖房機など幅広いラインアップで拡販を図る



石油ファンヒーター (FH)
足もとの暖かさ
速暖性・経済性



ポータブル石油ストーブ (PO)
電源不要
節電・防災としても



寒冷地向け石油暖房機
冬の暮らしをデザイン
上質な暖かさ・本格暖房



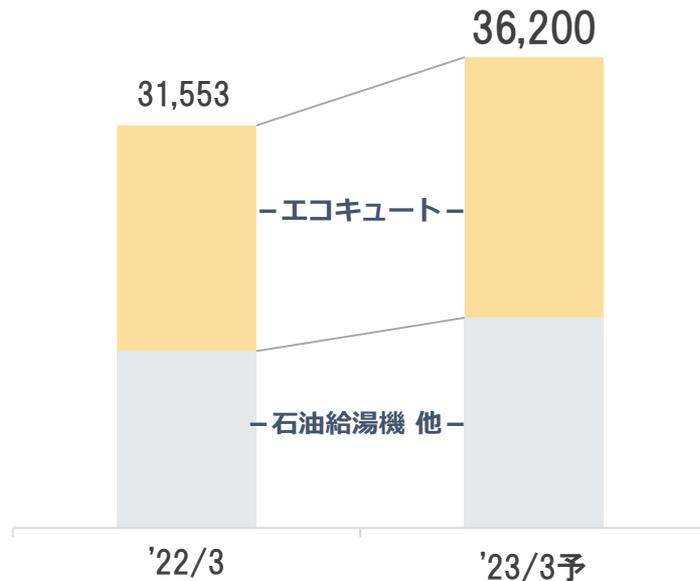
遠赤外線電気暖房機
豊富な遠赤外線
ヒートショック対策にも



自然対流形電気暖房機
オイルレスヒーター
空気の質へのこだわり

売上高推移

(単位：百万円)



主な増減要因

● 前期比 +4,646百万円

- ・エコキュートはZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の普及拡大や買い替え需要が高まる中、需要の取り込みを図る
- ・安定的な需要のある石油給湯機は高効率（省エネ）、高付加価値商品への切り替えを推進



石油給湯機
高効率
エコフィール



エコ暖
上質な冷暖房
高効率ヒートポンプ

ジオスハイブリッド
再生可能エネルギー
地中熱ヒートポンプ



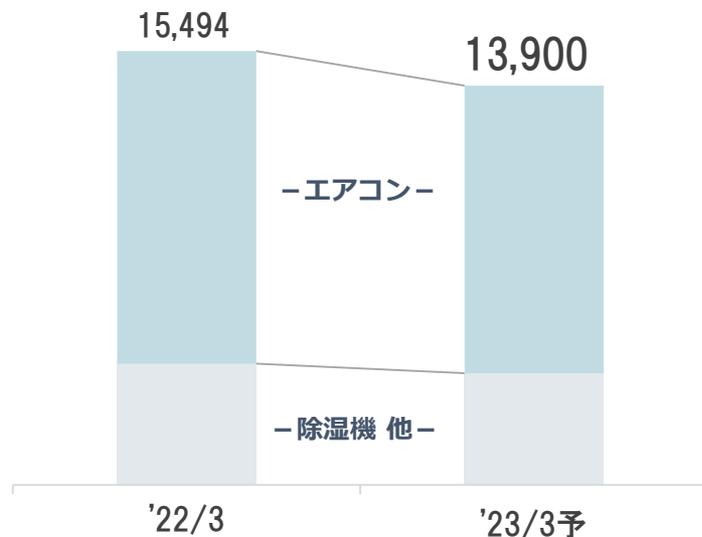
エコキュート
省エネ性能トップクラス
ソーラーモード搭載



アクアエア商品
(左から) ナノリッチ、ナノリフレ、ナノフィール
独自のマイナスイオン発生技術

売上高推移

(単位：百万円)



主な増減要因

● 前期比 Δ 1,594百万円

- ・ ルームエアコンはメーカー間の販売競争が激化する中で、IoT技術の活用や清潔性を追求した最高級シリーズ、特色ある商品ラインアップの強みを訴求、柔軟な生産・供給体制で販売拡大に取り組む

- ・ 衣類乾燥除湿機、冷風機の高シェアを継続、快適性・清潔性を追求した商品開発を推進



ルームエアコン
冷房専用、寒冷地向けも
ラインアップ



ウインドエアコン
根強い人気
工事不要、簡単取付



冷風・衣類乾燥機
1台3役の「どこでもクーラー」



除湿機
パワフル除湿とスピーディな衣類乾燥
コンプレッサー式の低消費電力

コロナグループ中期経営戦略

2022(令和4)～2026(令和8)年度

CORON*Action.*

変わる、そして挑む

つぎの快適をつくろう。このブランドスローガンを、より一層前に進めるために。

コロナグループの経営方針とサステナビリティを融合させ、新たなステージへ挑んでいく。

これまでの領域を超え、壁を取り払い、人の、社会の、地球の快適を考えていく。

私たちは、持続可能な社会の実現に向けて、2026ビジョンを策定し、

3つのテーマで、つぎの快適をつくるアクションを起こしていきます。

2026ビジョン

脱炭素社会への貢献
レジリエンスな社会

1. ひとの快適から、地球の快適まで。

エネルギーを使う企業として、2050年のカーボンニュートラルは、切っても切れない関係です。ヒートポンプ、電気、再生可能エネルギーを効率利用し、今よりもっと地球環境配慮型のものづくりを。平時も有事も、しなやかに暮らせる、レジリエンスな社会を目指したものづくりを。いざという時にライフラインを支える灯油も大事にしながら、地球の快適に貢献していきます。

快適の進化
暮らしの質向上

2. 楽を超え、楽しみまで生み出す快適へ。

これまで、私たちは、暖房・空調・給湯といった暮らしにかかせないものを生み出してきました。そして、「もっと使いやすく」を合言葉に、製品の進化に日々、取り組んできました。使いやすいことが当たり前になった今。楽をさせるを超え、豊かさや楽しみをもたらす、ものづくりを目指していく。家の中にとどまらず、家の外にも視野を広げ、新領域へと拡大していきます。

利益体質への転換

3. 暮らしの快適とともに、作り手の快適も。

ものづくりを通して、ひとの幸せを考える。それと同時に、働く自分たちが幸せであることも大切です。業務の効率化やスピードアップなど、現状を見直し、改善していくのはもちろん、従業員一人ひとりの働きやすさを追求する。前例にとらわれず、新しいやり方に取り組む。それらが、最終的に、ひとの快適と会社の成長につながっていくと信じて。

CORON/Action. 変わる、そして挑む

2026
ビジョン

脱炭素社会への貢献
レジリエンスな社会

快適の進化
暮らしの質向上

利益体質への転換

基本戦略

ヒートポンプ/電化事業の
拡大

「楽」から「楽しい」
への事業領域拡大

業務合理化による
高コスト体質からの脱却



事業戦略
機能戦略

エアコン事業の強化

家の外への領域拡大

管理間接・販売・製造
固定費の削減

ヒートポンプ・電化機器
開発・供給体制の強化

生活家電事業の
育成・拡大

開発のスピードアップ

脱炭素社会に向けた要素技
術・新エネルギーのR&D

ヘルスケアへの
領域拡大

重点施策

ブランディング推進

顧客接点・D2C強化

中計 ヒートポンプ/電化事業の拡大

「コロナエコ暖クールエアコン」小部屋用

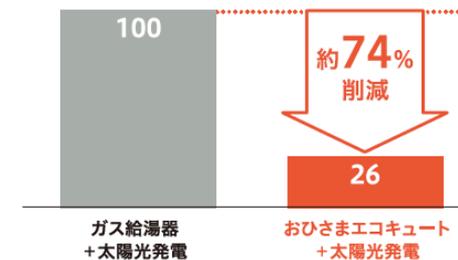
9月発売



長谷エコレーションとの共同企画

おひさまエコキュート

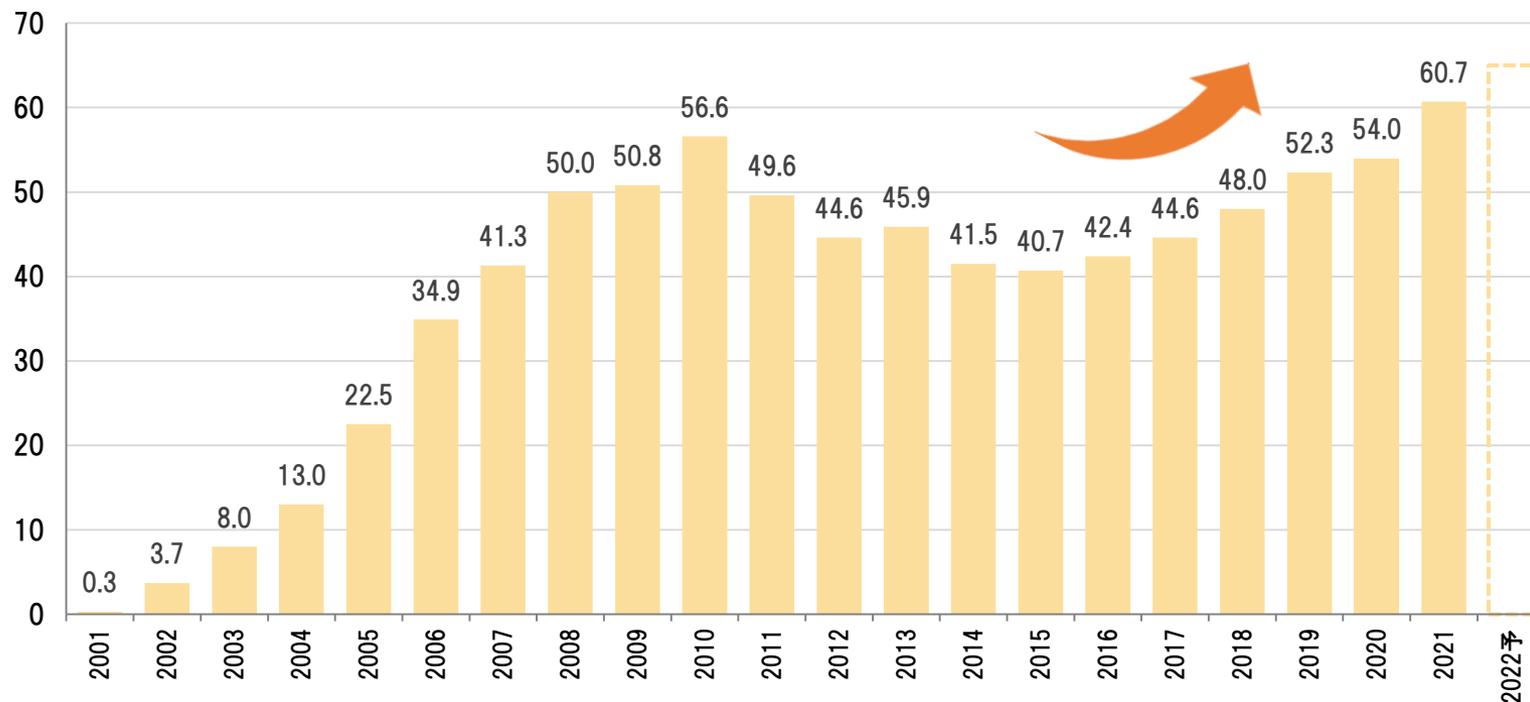
12月発売
予定

太陽光発電でCO₂排出量を削減

太陽光の余剰電力を活用

- 大手ガス機器メーカーに家庭用給湯・暖房システム用のヒートポンプユニットの供給を開始
- 集合住宅のZEH化に対応する「エコ暖クールエアコン」に小部屋用をラインアップ
- 東京電力エナジーパートナー管内で太陽光発電を利用するお客様向けに太陽光の余剰電力を活用する「おひさまエコキュート」を発売予定

出荷台数（万台）



出典：一般社団法人日本冷凍空調工業会統計資料より当社調べ
2022年予測は当社見込み

- エコキュートは2001年に当社が世界で初めて発売
- 出荷台数は2011年の東日本大震災前をピークに電力の供給不安などから減少するも買い替え需要の顕在化やZEHの普及などもあり近年は増加傾向が続き、昨年は過去最高を記録

中計 「楽」から「楽しい」への事業領域拡大

ポータブル電源対応石油ファンヒーター

9月発売



「SLばんえつ物語」モデル SLストーブ

10月発売



JR東日本商品化許諾済

- 公式オンラインストア限定で防災時など様々なシーンで活用できる低出力のポータブル電源に対応した石油ファンヒーターを発売（防災製品等推奨品マーク取得）
- 10月には新潟と福島を結ぶ列車「SLばんえつ物語」をイメージした石油ストーブ「SL型」を1,000台限定で発売

業務合理化による高コスト体質からの脱却

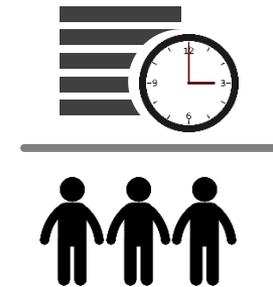
固定費の削減

- デジタル化、DX推進による業務効率化と管理間接部門の生産性向上
- 生産・物流関連設備の合理化投資



開発のスピードアップ

- 新商品企画・開発プロセスの短縮
- 企画コンセプトや意思決定の迅速化

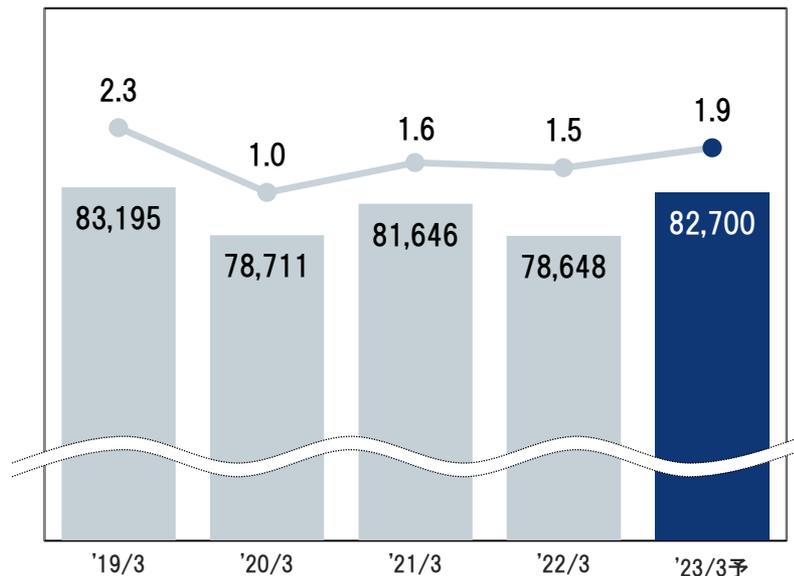


- IT技術を活用した業務の効率化・生産性向上を推進、生産・物流関連設備の合理化投資、商品開発のスピードアップにも取り組む
- 経営課題として高コスト体質の改善に取り組み、厳しさを増す環境下でも利益ある成長を目指す

通期 連結財務諸表の推移

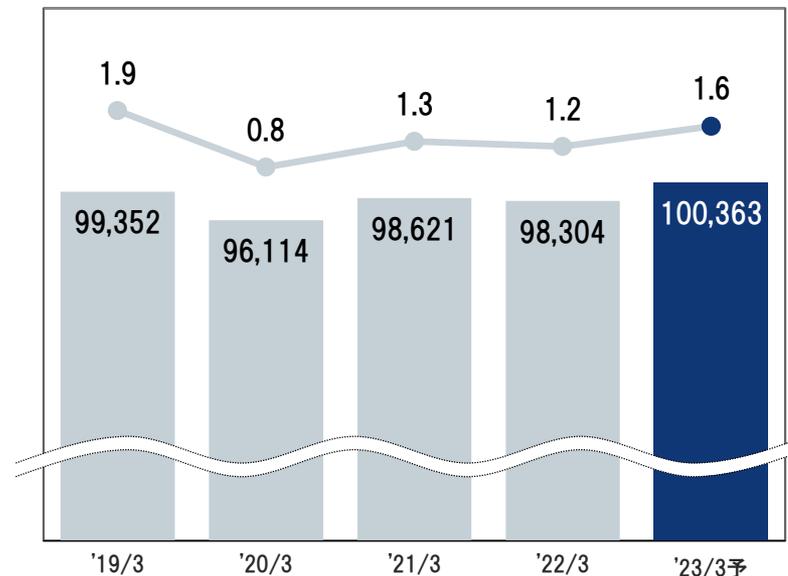
売上高・経常利益率

(単位：百万円・%)



総資産・ROA

(単位：百万円・%)



(ROA：総資産経常利益率)

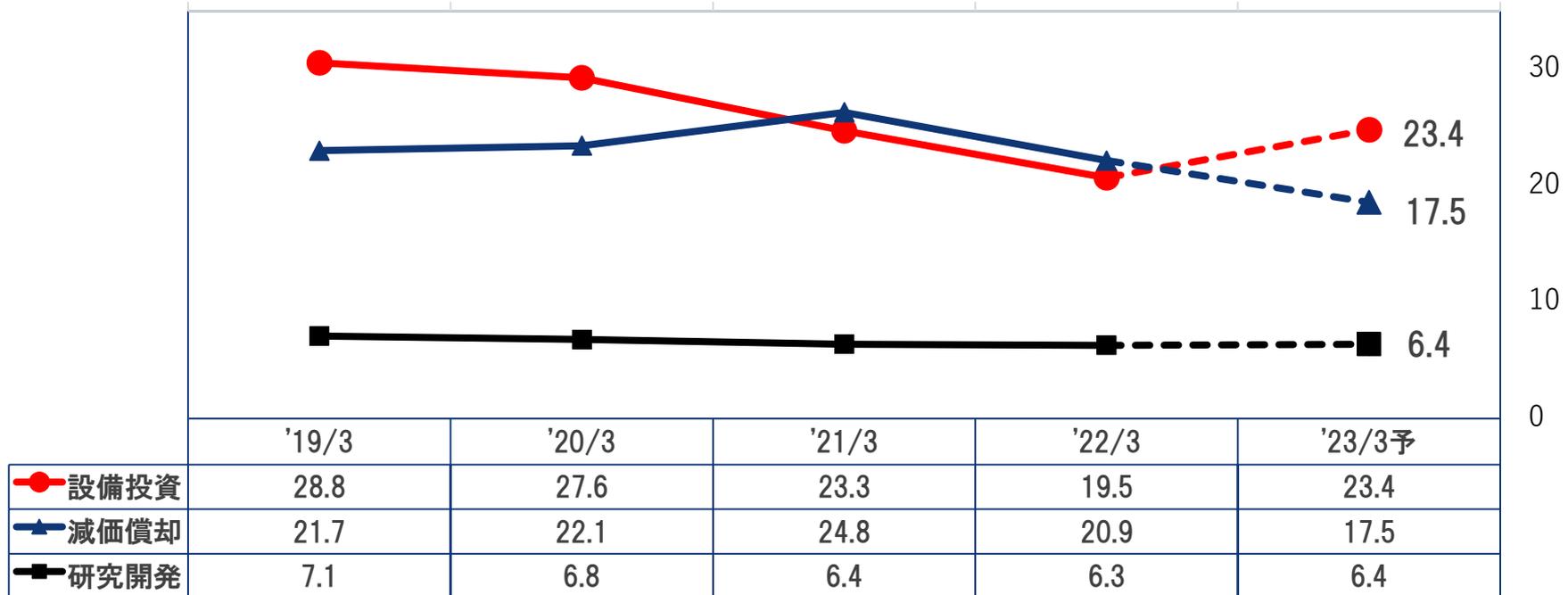
※2019年3月期及び2020年3月期については「収益認識に関する会計基準」
(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しておりません。

資本政策の方針

- 持続的な成長のための投資と、事業特性によるリスク等を許容する健全な財務体質を確保することと、安定的・継続的な株主還元を実施する基本方針

設備投資・減価償却費・研究開発費の推移（連結）

（単位：億円）



トピックス

- **設備投資** : 新商品の金型、生産合理化、IT投資の増強
（費用化投資含む）
- **減価償却** : 金型投資、機械設備の償却
- **研究開発** : 新商品開発、商品ラインアップ拡充

2023年3月期 年28円の配当を予定

●基本方針

長期的視野に立ち、収益動向・配当性向を見据え、将来の事業展開と事業の特性を考慮した内部留保等を勘案しながら、継続した安定配当を実施

◇売上高の拡大および収益性の向上により、長期的・総合的観点から株主の皆様の利益確保を図る

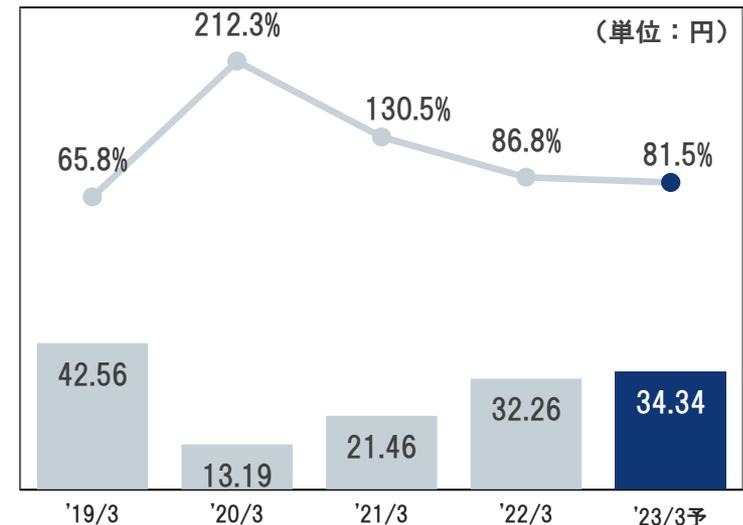
1株当たり配当金の推移

(単位：円)

	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3	'23/3予
中間配当	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
期末配当	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
合計	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0
1株利益	42.56	13.19	21.46	32.26	34.34
配当性向	65.8%	212.3%	130.5%	86.8%	81.5%

1株利益・配当性向

(単位：円)



※2019年3月期及び2020年3月期については「収益認識に関する会計基準」

(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用していません。

お問い合わせ先

〒955-8510 新潟県三条市東新保7-7

株式会社 コロナ 総合企画部広報室

TEL : 0256-35-8558

FAX : 0256-36-6523

E-mail : info@hode01.corona.co.jp

参考資料

- 会社概要
- 主な沿革
- 経営理念：コロナイズム
- 企業ミッション
- こだわりのメイドイン・新潟
- 工場の自動化・IT活用の取り組み
- 売上高構成と主な製品

会社概要 (2022年9月30日現在)

- ・ 創 業 1937年(昭和12)4月
- ・ 本 社 新潟県三条市東新保7番7号
- ・ 資 本 金 74億4,960万円
- ・ 単元株主数 9,995名(対前期末比 Δ 1,650名)
- ・ 事業内容 暖房機器、空調・家電機器、住宅設備機器の製造、販売等
- ・ 主な事業所
 - 研究所 技術開発センター(三条市)、柏崎技術センター(柏崎市)
 - 生産拠点 新潟県内8工場(三条、柏崎、長岡、子会社5工場)
 - 営業拠点 支店11、営業所56
- ・ 従業員数 2,230名(連結)(対前期末比 Δ 10名)
- ・ 関係会社数 連結子会社12社、関連会社1社



1954年当時の開発風景
(本社：歴史展示ホール)



本社：技術開発センター

主な沿革

1930年～

1937年（昭和12）
新潟県三条市
にて創業

1952年（昭和27）
日本初
加圧式石油コンロ発売



1955年（昭和30）
日本初
加圧式石油ストーブ発売



1970年～

1973年（昭和48）
石油給湯機発売



1979年（昭和54）
エアコン市場参入



石油ファンヒーター発売



1992年（平成4）
商号を「株式会社コロナ」
に変更

2001年（平成13）
世界初 自然冷媒（CO2）
ヒートポンプ式給湯機
「エコキュート」
発売



2010年～

2006年（平成18）
東証一部上場

2008年（平成20）
電気暖房
市場参入



2014年（平成26）
業界初 地中熱・空気熱
ハイブリッド温水暖房
システム発売



2020年～

2017年（平成29）
創業80周年

2019年（令和元）
リブランディング
つぎの快適をつくろう。
CORONA

自然対流形電気暖房機
「NOILHEAT（ノイルヒート）」
発売



2021年（令和3）
エアコンブランド制定
Relala
リララ

経営理念：コロナイズム

企業理念

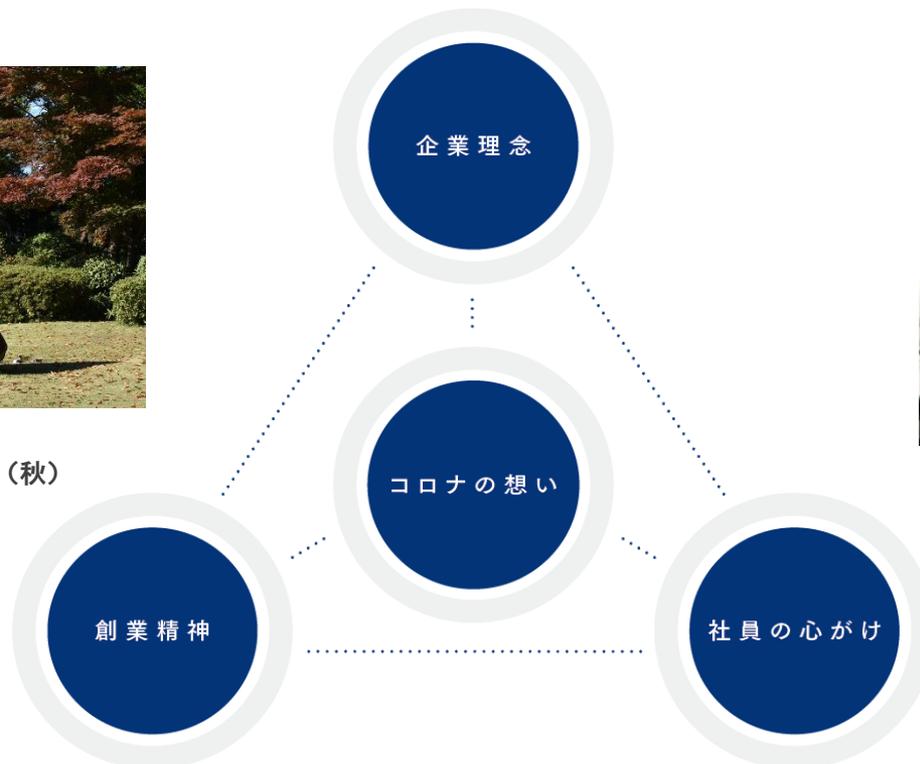
あなたと共に
夢…新たなライフシーン…を実現しお客様に喜んでいただけるコロナ
～快適・健康で環境にやさしい心豊かな生活になくはないコロナでありたい～



本社技術開発センター前（秋）



36 豪雪時猛吹雪の中
ストーブを担ぐ社員の列



創業精神

[誠実と努力]

コロナの想い

[感謝と感動]

社員の心がけ

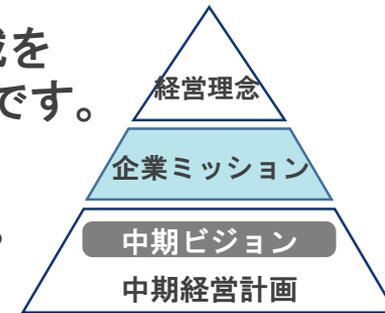
[創造と協創（げんこつの理）]

[チャレンジ For You]

企業ミッション

企業ミッションは社会のニーズ・課題とコロナグループの事業領域を照らし合わせ、私たちコロナグループが果たすべき使命を示したものです。

コロナグループは広く社会や環境に貢献する存在であるために、事業活動を通じて価値を創造し、ミッションの実現を目指します。



快適で心はずむ毎日

体感できる快適に加え、暮らしにゆとりや彩りを。つかう人の心の満足も生み出します。

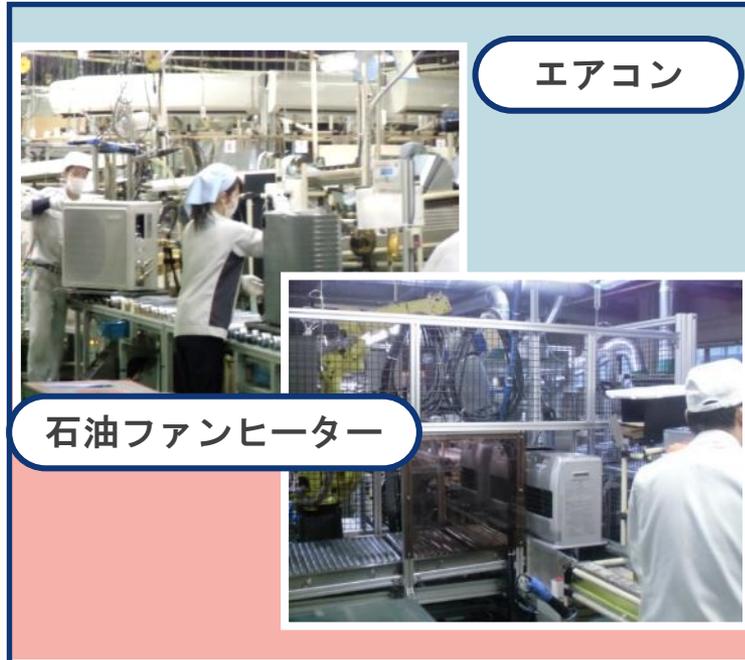
環境にやさしい暮らし

日々の暮らしを環境にやさしいものに。毎日つかうものだから、エネルギーを効率よく利用し、地球環境に配慮します。

だれでもいつでも 安心な社会

だれでもつかいやすく、いつでも安心を。事業を通じて、安心してレジリエンスな社会の実現に貢献します。

こだわりのメイドイン・新潟



「二毛作生産」で年間を通してフル稼働
(写真は三条工場)

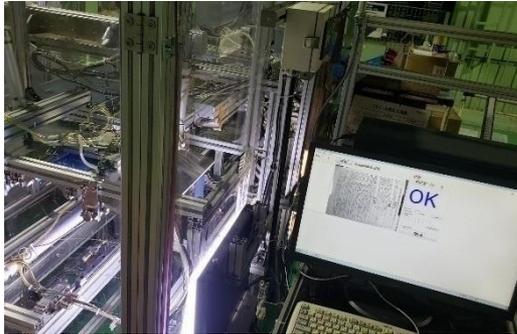


総合的品質管理の世界最高ランクの賞である
「デミング賞実施賞」を受賞(2010年度)

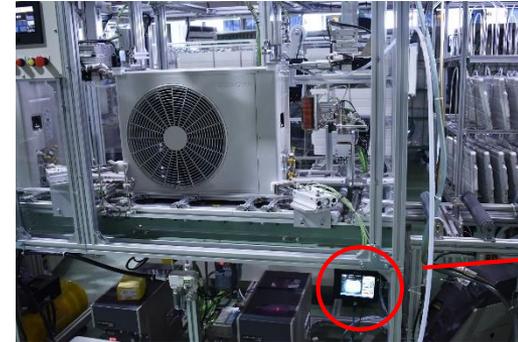
- 石油ファンヒーターとルームエアコンの「二毛作生産」から柔軟な通年生産へ
- 新潟県内の各工場で、需要状況に応じて機動的な生産体制が可能
- 合理化生産設備の積極導入、作業改善による生産性の向上を図る

工場の自動化・IT活用の取り組み

AIを活用した印刷部の画像検査



ねじ締め・ラベル貼付の自動化



ラベル貼付状態の画像検査



自動搬送ロボット



エアコン検査の自動化



AIやIT技術を積極活用し、作業効率を向上

- 工場内では自動化やIT技術活用による作業の効率化、品質向上の取り組みを進める
- RPA（ソフトウェアロボットによる業務自動化）を導入し、業務時間の削減も実施

売上高構成と主な商品

2022年3月期
売上高：786億円

【住宅設備機器】



アクアエア商品



ヒートポンプ式冷暖房
「エコ暖」シリーズ



地中熱+空気熱ヒートポンプ
冷温水システム



石油給湯機



エコキュート

【暖房機器】



石油ファンヒーター



寒冷地向け大型石油暖房機



石油ストーブ



遠赤外線
電気暖房機



自然対流形
電気暖房機

【空調・家電機器】



ルームエアコン ウインドエアコン



冷風機・除湿機

